

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 イラプション・プロハイブリッド	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.500	△RG 0.036	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：イラプション・プロハイブリッド

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤 番

比較対照ボール：イラプション・プロ

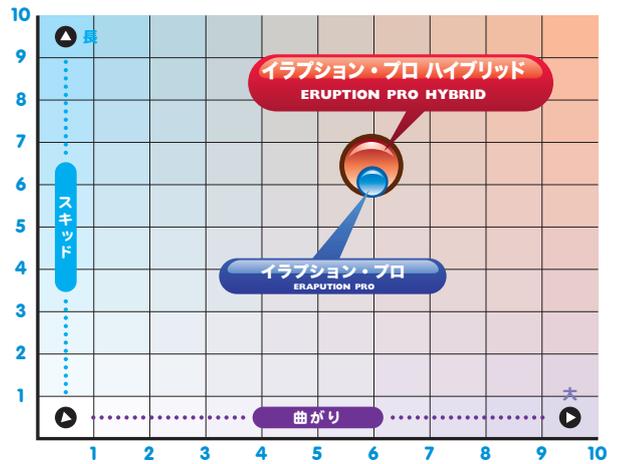
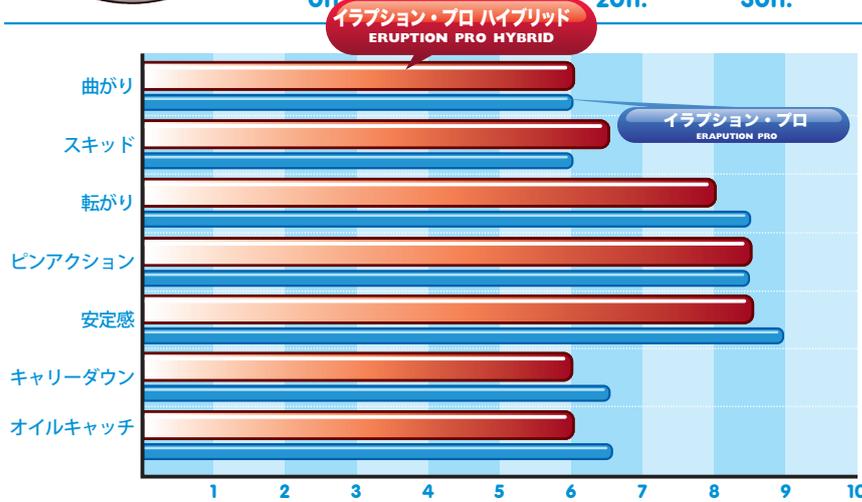
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤 番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Eruption Pro Hybrid、Eruption Proの性能のイメージでバックエンドをやや角がでるような開発コンセプト。ミディアムライトなコンディション対応は変わりませんが、入射角が取れるようになった。

いつも驚かされるのは、一世を風靡したヘビーオイル用Resurgenceに代表されるModified Resurgence Core。そのコアを使い、Resurgenceのように緩やかな弧を描く強さを出したり、DISRUPTIONのように角がでるリアクション形態にしたり、カバーストックの性能だけでこれだけパフォーマンスの形態を変えられるのは凄いことであり、コロムビア社のカバーストックの幅を感じることができます。今回Eruption Pro Hybridに採用されているカバーストックはCR 300 Hybrid。CはClean(クリーン)、RはReaction(リアクション)を表す、Eruption ProのHybridバージョンです。Hybrid化することでCR 300 カバーストックはよりC(クリーン)なスキッドを生み出し、R(リアクション)の強さを増幅させることができたのでしょう。

投球したイメージはEruption Pro同様に直線的にラインを攻めることができます。Eruption Proは先で動きが丸い分遅めのコンディションでも過激な反応を見せませんでしたが、このEruption Pro Hybridは先で角が見える分、やや幅を取りながらのライン取りができることで使えるコンディションの幅がややミディアムより近づいた感じがします。テスターの山本勲プロも川添奨太プロも凄くイメージが良い投球ができるという報告を受けています。コロムビア社の中でもミディアムライトなコンディションで点数をもぎ取ることのできる希少なスペック。このボールはバッグに入れておくべきでしょう。

特記事項

Emergency Orange / Fire Pearlの配色は鮮やかで攻撃性も感じます。イラプションでやや角が出るイメージなので、イラプション系で入射角が足らなかった方にオススメです。